

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類				詳細点検
事務事業名	草尾南野田線	シート番号				D 建設・整備事業
担当部署名	建設	局	道路	部	道路計画	課 評価責任者(課長名)
						根兵

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成	有
	2	事業開始年度	平成 14 年度		終了(予定)年度	令和 2 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	都市計画法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	当該地域は、南海高野線北野田駅や学校等の施設もあり歩行者が非常に多い地域であるが、幹線道路がなく通過車両が生活道路へ流入し、歩行者の安全確保が困難となっている。また、地域の防災上の避難路として、安全・防災等に関する機能を果たすものであり、早期の整備が必要である。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	道路利用者・災害時における避難者・被災者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	国道310号から南海高野線北野田駅へのアクセス機能向上と地域の交通ネットワークの強化を図る。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	都市計画決定:昭和40年7月29日 事業認可:平成26年5月28日～令和3年3月31日 事業区間:東区草尾～東区西野 路線延長:L=723m 道路幅員:W=18m 車線数:2車線 平成30年度は、用地取得及び支障物件調査等を実施			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 業務の受注者				

Ⅲ. 投入量

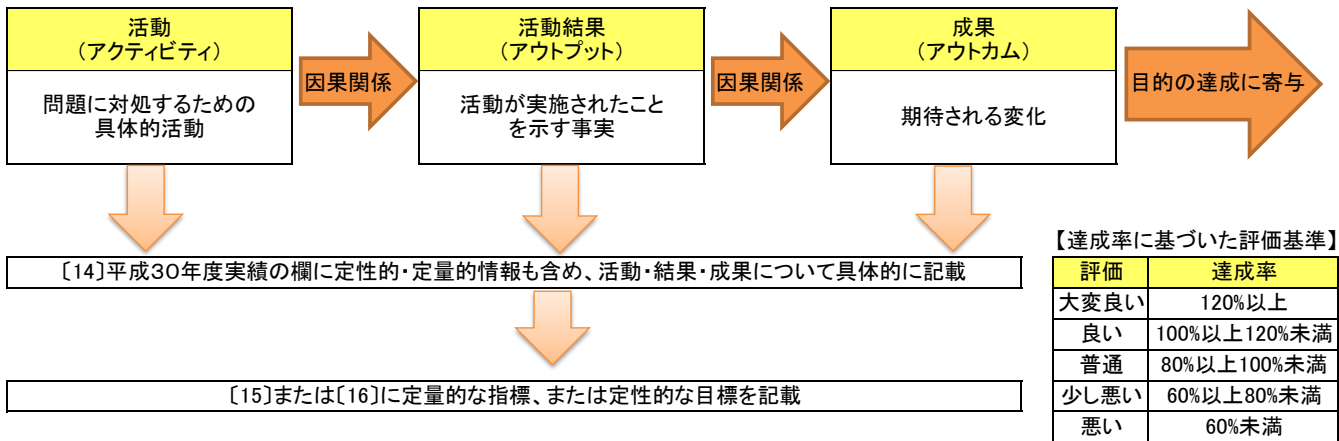
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	168,497	98,044	103,146	21,800	
主な事業費内訳	工事費	千円	14,703	891	300	
	用地費	千円	146,958	90,919	99,882	
	委託費他	千円	6,836	6,234	21,500	
		千円				
	国・府支出金	千円	82,476	50,000	49,700	9,950
財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円	72,500	36,800	45,100	8,800
	その他( )	千円				
一般財源	千円	13,521	11,244	8,346	3,050	
12 人件費 (b)	千円	6,320	5,206	6,586	6,296	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	174,817	103,250	109,732	28,096	

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	草尾南野田線	シート番号	19-48
-------	--------	-------	-------

### ≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

#### ロジックモデルの考え方



#### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績						
活動実績と成果	14	<p>平成14年度から着手している草尾南野田線事業について、平成30年度は用地取得並びに支障物件調査等を実施し事業を推進した。</p> <p>[事業進捗] (用地取得状況) ○土地所有者と鋭意交渉を行った結果、用地取得ができた。 ・用地取得率: 75% ○用地取得に必要な支障物件調査等の作業を行った。</p>				
	15	目標				
	16	目標に対する実績	土地所有者との交渉により用地取得。			
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			目標値			
			実績値			
			達成率			
			評価			
		算出方法・設定根拠など				

#### 業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>○用地取得において、土地所有者と鋭意協議を行った結果、用地取得率を伸ばすことができた。</p>
----	---

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。